

新大阪駅改良工事に伴う営業体制の見直し

「中央出札・新幹線のりばの体制強化」と 「南口出札の新設」で要員がプラス28名

10月3日、新大阪駅改良工事に伴う営業体制の見直しが提案されました。

中央出札・新幹線のりばの体制強化（JR西日本の4カ所の窓口をJR東海に移管）、南口出札の新設（3カ所の窓口）などで要員が28名増えることとなります。

中央出札・新幹線のりば（中央口）は平成23年12月18日、南口出札・新幹線のりば（南口）は平成24年2月5日に実施されます。

営業体制の見直し提案に対する申し入れを行う

10月18日、新大阪駅改良工事に伴う営業体制の見直しに対する申し入れを行いました。以下、申し入れ内容です。

「新大阪駅改良工事に伴う営業体制の見直し」に関する申し入れ

1. 新大阪駅の要員が28名増えることになるが、増える要員はどのように確保するのか明らかにすること。
2. 改良工事に伴う要員の見直しは「今後もあり得る」と回答しているが、要員の見直しの具体的な内容を明らかにすること。
3. 中央出札での中央主査を泊まりにした理由を明らかにすること。
4. 中央口での機動主任を新設した理由を明らかにすること。
5. 乗換口での交代5形の要員を1名減とした理由を明らかにすること。
6. 南口出札は出札15、出札16、出札17と新設されるが、お客様の対応は十分と考えているのか明らかにすること。
7. 中央口における精算は、中央口から出るお客様に対応できるのか明らかにすること。
8. 異常時における精算所の体制強化のために精算要員を増やすこと。